「無防備」対策に苦慮

巨大津波 十勝は耐えられるか 下

「15㍍級の津波が押し寄せれば、埠頭（ふとう）はひとたまりもないだろう」。重要港湾十勝港を管理する広尾町は「500年間隔地震」の猛威に港湾は到底耐えられないと懸念する。

■コンビナート 十勝港被害甚大

アグリポートを標ぼうする同港は、農業王国十勝を支える屋台骨だ。農協サイロ、ホクレン肥料、飼料コンビナートといった重要施設が集積し、昨年は小麦17万㌧、ジャガイモ2万6500㌧を積み出すなど、農産物流通の要ともなっている。

今回の津波では幸い、こうした農業関連施設に大きな被害はなかったが、15㍍級の津波となると想定は違ってくる。町の港湾関係者は「施設を囲うフェンスをコンクリート壁にしたり、重要機器のある部屋の防水性を高めるなどの措置を講じるしかない」と頭を抱える。自然の猛威には、対症療法的な対策しか見あたらない。

■待ったなしの家畜飼料供給

農業施設が壊滅した場合、すぐに影響がでるのは酪農畜産業。配合飼料製造工場がストップすれば、その日から家畜に与える餌の供給が不安定となるからだ。東日本大震災では、東北にある15の飼料製造工場が被災し、月産35万㌧の供給力が減退、飼料不足が深刻な課題となっている。

JA全農（東京）によると、農協系統の飼料工場のうち、八戸、石巻の2工場が津波被害を受けた。同グループではホクレンなどからの供給で現地に緊急支援したが、家畜ブランドにあわせ調合した餌ばかりではなく、肉質変化が懸念されているという。

港湾施設、海岸ルート守れ

十勝港で年間40万㌧を生産するとかち飼料は「現状でも6～7㍍の津波には耐えられる設計だ」とするが、今回の大津波を受け現在1階にある動力盤を2階にあげることなど対策を検討。「2階以上が無事なら早期に操業再開できる」

東日本大震災の津波に襲われた後の十勝港。飼料コンビナートのサイロ（写真後方）や小麦貯蔵サイロのある埠頭にも海水が上がった

■大型貨物港外 避難に1時間

被害が懸念されるのは陸上施設だけではない。大型貨物船の安全対策も課題だ。特に、飼料コンビナートが稼働を開始して以降、載貨総重量が7万㌧以上のパナマックスクラスの超大型船も定期的に入港している。

津波警報が発令された場合、港内の船は速やかに沖に逃げることになっているが、町によると、7万㌧級の貨物船が出港するには、約1時間かかる。震源が近く、地震発生から津波到来までの時間が短ければ、港外に出す余裕はない。町港湾課では「逃げられなければ係留ロープといかりでバランスを保ちながら、津波をやりすごすしかない。大型貨物船は喫水が深いので、10㍍超程度なら岸壁に乗り上げることはないだろう」とみている。

■替え利かない小麦サイロ

容量を11万7000㌧に増強した農協サイロ十勝港広域小麦流通センターも拠点施設だ。ここは管内の小麦の40％以上を集荷、道外に送るまで一時貯蔵する。同センターは、小麦自体は、7㍍程度の津波でも波をかぶらないと思うが、機械類が先に壊れる可能性はある」と話す。

■道東の大動脈 寸断の恐れ

道東物流の大動脈・国道38号も津波に対する〝アキレスけん〟を抱えている。浦幌～釧路にかけての海岸線だ。東日本大震災の津波では、警報が解除されるまで、浦幌町直別―釧路市大楽毛間39㌔が約27時間半にわたって通行止めとなった。

浦幌町が作製した防災マップによると、13㍍の大津波は内陸約1・5㌔の同町直別付近まで到達する。海との間には湿原があるが、海抜5㍍の国道は被災エリア内に入る。釧路市音別町、白糠町でも海岸近くの低地を通っており、河口近くの橋も含めて広範囲で甚大な被害が予想される。

国道が浦幌以東で寸断された場合、帯広から釧路に向かう最短ルートは、国道241号を使って足寄町、阿寒湖経由となる。距離で73㌔、時間にして約1時間半の迂回（うかい）となり、時間と燃料のロスは大きい。

そこで期待されるのは海岸部を通らない道東道だが、現在は浦幌までしか開通しておらず、14年度に白糠まで延伸される予定だ。

2003年の十勝沖地震（管内で最大震度6弱）では、寸断していた国道より早く、道東道が発生4時間後に帯広と池田を結んだ。一般道に比べ頑丈な構造を持つ自動車道は東日本大震災でも、最も早く復旧している。

東十勝のある運送会社では「阿寒回りの損失は大きい。万一の災害の後、物流を早期に回復し、被災地の生活を支えるためにも早期の釧路延伸が必要ではないか」と話している。

災害発生時期が収穫直後だった場合の混乱は大きい。農協サイロ社長で十勝農協連の山本勝博会長は「十勝港のサイロが使えなくなったら、小麦の半分は貯蔵するところがなくなる。そういった場合の備えは考えていないので大変なことになる。大きな津波には会社単独で対策は立てられず、防波堤を造るなど国や道でやってもらわなければならないと訴えている。

市民の支援物資 南三陸へ出発

帯広市が受け付けた東日本大震災被災地に対する個人の支援物資が13日午後、受付場所の旧第六中学校（東11南9）から、被災地の宮城県南三陸町に向けて出発した。

個人の支援物資は3月27日～4月3日、同7～9日の2回にわたって市が受け付けた。市民や企業から寄せられたのはタオルケットやタオル類（1500枚）、おむつ（3150枚）、学用品はノート（4500冊）、鉛筆（400ダース）、食料品は缶詰（1800缶）、米（500キロ）など多数。これに加えて市からは牛乳や菓子類、レトルト食品を贈る。

物資はトレーラー（20㌧）とトラック（6㌧）に積み込まれた。出発式で米沢則寿市長は派遣される4人の職員に対し「被害の大きい地域なので大変だと思うが、気をつけて帯広市民に頂いた支援を届けてほしい」と述べた。（道下恵次）

MOVIE かちもバ 携帯WEB

米沢市長から激励を受ける派遣職員

預託金返還で和解

帯広簡裁 国際カントリー訴訟

帯広国際カントリークラブ（CC、幕別町千住）のゴルフ会員権預託金を「永久債化」する制度変更に対し、一部会員が預託金の返還を求めた訴訟の和解が14日までに、帯広簡裁で成立した。同社が原告の訴えを受け入れ、預託金を全額返還する。

和解が成立したのは、永久債化を考える会として活動してきた会員の法人2社と個人12人。帯広国際CCを経営する帯広国際（幕別町千住）に対し、据置期限を過ぎた預託金の返還を求めて提訴していた。3月10日から4月13日にかけて和解が成立し、据置期限が過ぎた27万5000円～220万円の預託金が分割でそれぞれ返還される。

帯広国際CCは昨秋、売上高や入場者数の減少で預託金償還が経営を圧迫しているとして、将来的な経営破綻を回避するため約9億円の預託金償還に応じず、永久債化することを決めた。同意できない場合は、預託金額面の7％相当で同社が会員から買い取る代替案と合わせて、同10月に会員約2000人に伝えていた。一部会員からは、会則変更など制度変更に対する不満、再考を求める意見が出ていた。

同社は3月1日付で社長が、山田英和氏から金尾剛氏に交代した。金尾社長は「弁護士から詳しい状況を聞いていないので、詳しくは答えられない」としている。

産婦人科医名乗り撮影画像送らせる

管内女子高生被害 容疑で男逮捕

帯広署と十勝機動警察隊、釧路方面本部生活安全課は13日、群馬県伊勢崎市赤堀今井町2、板金塗装工松本崇容疑者（42）を児童買春・ポルノ処罰法（児童ポルノ単純製造）の疑いで逮捕した。

逮捕容疑は、昨年9月27日ごろから同29日ごろの間に、携帯電話のインターネット掲示板で知り合った十勝管内の女子高校生（16）に、高校生自身の下半身や上半身を携帯電話で撮影させ、その画像5～6枚を同容疑者の携帯電話にメールで送らせた疑い。

帯広署によると、掲示板で同容疑者は伊勢崎市内にある産婦人科の院長を名乗っていたが、医師免許は取得していなかった。高校生は相談に乗ってもらおうと掲示板で使用するメールアドレスで連絡したところ、同容疑者は「無料で診察する」と上半身の画像を送るよう求めたという。

昨年10月に高校生が画像をメールで送ったと警察に相談。掲示板上のメールアドレスなどから同容疑者が浮上。4月に入り、同容疑者の自宅を家宅捜索し、携帯電話を押収した。

同署の調べに対し、同容疑者は18歳未満だと知った上で送らせたと容疑を認めているという。

売買川に男性遺体

14日午前9時35分ごろ、帯広市内の札内清柳大橋南側の売買川で、うつぶせの状態で浮かんでいる人を近くに住む女性が見つけ、110番通報した。帯広市消防署が川から引き揚げたところ、男性と分かり、間もなく死亡が確認された。帯広署で身元や死因を調べている。

インフルで学年閉鎖

帯広市教委によると、インフルエンザとみられる症状で、東小3年生が15～17日の3日間学年閉鎖となった。

ゴシップ

○…岩手県滝沢村のチャグチャグ馬コ保存会が、今年もばんえい十勝の開幕イベントに参加することになった。昨年同様、帯広競馬場内のパレード＝写真＝などで盛り上げる。

○…同村は東日本大震災で人的被害はなかったが、道路や建物などが被害を受け、県内の沿岸地域からの被災者受け入れなどに奮闘する。その中で「ばんえい競馬関係者はいち早く被災者の応援に乗り出してくれた」とお礼のために自費で会員4人が来帯する。

○…競馬場では16日午前10時から競馬場入場門でチャグチャグ装束のリッキー号らと観客を出迎え、17日同時刻からは馬装の実演も披露する。交流を続けているNPOとかち馬文化を支える会関係者は「地元が大変な時に来てくれるとは」と東北の熱い心に感動、「さらなる義援金集めを」と力を込めている。

あんずちゃん

◀田中しょう▶

北海道釧路方面公安委員会認定第1号
株式会社 エム・エム・シー
ザ代行さん 31-1999

おくやみ

大石冨恵さん（おおいし・とみえ＝101歳）更別村字上更別125／3445＝老衰のため、13日午前10時10分、死去した。農業大石精一さんJR東日本勤務大石熊吉さんの母。農業大石敏彦さん、JAさらべ（貯蓄共済課長尾崎英治さんの祖母。喪主は長男精一（せいいち）さん。

安藤君子さん（あんどう・きみこ＝92歳。帯広市西14北3ノ2）療養中だったが、13日午前6時30分、死去した。元農業安藤貫さんの妻。帯広税務署勤務安藤年廣さんの母。帯広市児童会館勤務安藤三恵子さん、東京美装北海道稚内出張所勤務新田一詔さんの義母。日本IBMソリューションサービス勤務安藤真稔さんの祖母。喪主は夫貫（みのる）さん。

先崎孝信さん（せんざき・たかのぶ＝76歳。本別町北8ノ4）元本別町議会議員、先崎理容院経営。療養中だったが、13日午後0時38分、死去した。喪主は妻淑子（よしこ）さん。

堀川治夫さん（ほりかわ・はるお＝71歳。帯広市西24南2ノ3）元帯広大谷学園常務理事、元音更大谷幼稚園長、元帯広大谷高校教諭、大谷菩提樹会専務理事、鈴蘭保育園長。療養中だったが、13日午前7時55分、死去した。元市原牧園小学校教諭橋本章子さんの父。菊水化学工業千葉営業所長橋本浩二さんの義父。喪主は妻美代子（かつまた・せいいちろう＝67歳。豊頃町旅来198）元農業。療養中だったが、13日午前8時40分、死去した。農業勝又順子さんの夫。農業勝又慎一さん、日晶運輸勤務勝又貴治さん、酪農業折笠由理美さんの父。酪農業折笠文昭さん、陸自東千歳第7後方支援連隊勤務濱出明さんの義父。喪主は妻順子（じゅんこ）さん。

佐野茂子さん（さの・しげこ＝64歳。本別町西勇足99ノ20）療養中だったが、13日午後3時、死去した。農業佐野捷雄さんの妻。農業佐野一義さんの母。ナラサキ石油勤務川口政昭さんの義母。喪主は夫捷雄（かつお）さん。

奥山貞子さん（おくやま・ていこ＝62歳。帯広市西21南4ノ30）療養中だったが、13日午前7時55分、死去した。丸建道路札幌支店勤務奥山洋三さんの妻。ビジネスネットワーク勤務奥山泰宏さん、東光舗道勤務佐藤勝子さん、ソフトバンク帯広自由が丘勤務奥山恵理子さんの母。石野コンクリート工業勤務佐藤淳一さんの義母。喪主は夫洋三（ようぞう）さん。

八木啓充さん（やぎ・ひろみつ＝60歳。帯広市南町東1ノ3）前帯広農業高校長。療養中だったが、13日午後0時5分、死去した。喪主は妻則子（のりこ）さん。

勝又征一郎さん（かつまた・せいいちろう＝67歳。豊頃町旅来198）元農業。療養中だったが、13日午前8時40分、死去した。農業勝又順子さんの夫。農業勝又慎一さん、日晶運輸勤務勝又貴治さん、酪農業折笠由理美さんの父。酪農業折笠文昭さん、陸自東千歳第7後方支援連隊勤務濱出明さんの義父。喪主は妻順子（じゅんこ）さん。

迷惑をかけたくない…と思う親の心
しっかり送りたい…と思う子の心
家族葬 やすらぎ
相談無料
☎(0155)35-1010
株式会社 くまの葬祭　帯広市西18条北1丁目

夫 **堀川治夫** 儀 病気療養中のところ、四月十三日午前七時五十五分、七十一歳の人生を果たし命終致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。おって葬儀は左記により執り行います。
記
一、通　夜　四月十五日午後七時
一、葬　儀　四月十六日午前十時
一、場　所　帯広中央斎場二階
帯広市西十二条南二十九丁目☎(49)3100
平成二十三年四月十四日
帯広市西二十四条南二十目三番地六
喪　主　堀川美代子
施主（千葉県）橋本浩二
長女　橋本章子
孫　橋本和樹
孫　橋本豊夢
母　堀川美智江
姉（札幌市）小田切美子
（江別市）妹　富樫知子
（苫小牧市）妹　蔦保江収子
義兄（札幌市）蔦保照稔子
義妹（札幌市）森下豊子
森下よし恵
ほか友人代表　親戚一同
斉藤勝夫
佐々木力広
葬儀委員長　西十三号町内会会長

当会専務理事
当会総合園長　堀川治夫儀
当会鈴蘭保育園園長
四月十三日午前七時五十五分、命終致しました。
ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十三年四月十四日
社会福祉法人 大谷菩提樹会
理事長 伊藤篤一
職員一同

当学園元常務理事
当学園元音更大谷幼稚園園長
当学園元帯広大谷高等学校教諭　堀川治夫殿
四月十三日午前七時五十五分、命終致しました。
ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十三年四月十四日
学校法人 帯広大谷学園
理事長 伊藤篤
教職員一同

当クラブ元第3リジョン地区PR・YE委員
堀川治夫殿　四月十三日午前七時五十五分、命終致されました。
ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十三年四月十四日
帯広中央ライオンズクラブ
会長 佐々木岳志

妻 **安藤君子** 儀 病気療養中のところ、四月十三日午前六時三十分、九十二歳をもって永眠致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。おって葬儀は左記により執り行います。
記
一、通　夜　四月十四日午後七時
一、葬　儀　四月十五日午前九時
一、場　所　帯広市民斎場二階
帯広市西十条南四丁目☎(35)4134
平成二十三年四月十四日
帯広市西十四条北三丁目二番地二十六
喪　主　安藤実
施主 二男　安藤年廣
長男の妻（稚内市）安藤智恵子
長女　新田三惠子
孫代表（札幌市）安藤ミチ子
ほか親戚　安藤稔
北協和町内会会長　蛯澤保二郎
葬儀委員長

母 **大石冨恵** 儀 老衰のため、四月十三日午前十時十分、百一歳をもって帰幽致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。おって葬儀は左記により執り行います。
記
一、前夜祭　四月十四日午後七時
一、発葬祭　四月十五日午前十時
一、場　所　更別の家
更別村字更別南一線九十番地二☎(52)2666
平成二十三年四月十四日
更別村字上更別一二五番地三四五
喪主 長男　大石精一
施主 孫　大石敏彦
（江別市）大石真理子
長女　上田須磨子
二男（帯広市）大石勇
三男の妻（江別市）大石敏
二女の夫（広尾町）大石加代子
四男（帯広市）大石勇
三女（中札内村）齋藤雪
四女　劔持重信子
五男の妻（帯広市）劔持エツ子
六男（神奈川県）大石加奈子
孫代表　大石熊吉
ほか親戚　尾崎英治
尾崎嘉津子
加藤秀紀
葬儀委員長　上更別南区副区長

葬儀のことなら 葬儀社 和晃
市内西20南3 ☎34-4444

夫 **先崎孝信** 儀 病気療養中のところ、四月十三日午後零時三十八分、七十六歳をもって永眠致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。おって葬儀は左記により執り行います。
記
一、通　夜　四月十五日午後七時
一、葬　儀　四月十六日午前十時
一、場　所　光仙寺
本別町栄町三十五番地☎0156(22)3778
平成二十三年四月十四日
本別町北八丁目四番地三
喪　主　先崎洋子
弟（女満別町）先崎克雄
先崎京子
妹（帯広市）森下和子
（帯広市）三浦正志
妹　三浦美代子
弟（塩釜市）先崎富夫
義姉（清水町）先崎幸子
義弟（幕別町）鬼武定一
義妹（浦幌町）荒田崇典子
義妹　武田淳子
義弟（横浜市）小島哲英
小島勇憲子
義妹　荒井直子
義弟　荒井一同
ほか親戚　荒井健子
高橋忠之
葬儀委員長
北八丁目自治会会長

●おくやみ広告は2面にもあります。
真心でご奉仕 葬儀社 帯広はなや
帯広市西10条南17丁目 ☎(25)4187 (24時間営業)